

# アシストネットだより

「とちぎ未来アシストネット」は、学校・家庭・地域が一体となり、地域ぐるみで子どもたちの“生きる力”を育み、より良い地域づくりにつなげるための栃木市独自の教育システムです。

今年度の栃木中央地域（栃木東中学校区、栃木西中学校区、栃木南中学校区）各小中学校の活動の様子をご紹介します。

## 栃木中央小学校「5年ミシンボランティア」



初めてのミシン。ドキドキ顔で授業が始まりました。子どもたちは、上糸・下糸の準備、縫い始め・縫い終わり、返し縫い、縫う方向の考え方など、ミシンを使う時に必要な動作を教わります。困ったときにすぐにボランティアの方に助けてもらうことができます。そのため、授業が進むにつれて、笑顔で楽しく実習に取り組む姿が見られました。

2時間の実習で、ミシン操作の流れを身に付けることができ、自信をもってミシンを扱えるようになりました。

## 栃木第三小学校「子ども例幣使行列衣装ボランティア」



本校の4年生は、総合的な学習の時間の一環として「嘉右衛門町を有名にしよう大作戦」に取り組んでいます。その中で行われる「子ども例幣使行列」では、4年生が手作りの衣装に身を包み、通りを練り歩きます。ここで使われる衣装を、毎年作成、修繕してくださっているのが衣装ボランティアの皆さんです。今年度は、色画用紙と工作用紙を使って鳥帽子を新しく作成してくださいました。

ボランティアの皆さんがあつてくださった鳥帽子や衣装を身に付け、今年も盛大に子ども例幣使行列を開催することができました。

## 栃木第四小学校「初めての裁縫・家庭科ボランティア」



5年生にとって、楽しみにしている家庭科の授業ですが、裁縫はほとんどの児童が未経験のため、不安な様子でした。ボランティアの方に、針に糸を通すところから始まり、玉結び、玉止めなど、丁寧に教えていただき、なんとかできるようになりました。また、ミシンを扱う授業でもボランティアの方々に支援していただき、素敵なお手本ができました。

ボランティアの方が児童一人一人に優しく寄り添ってくださったお陰で、児童は落ち着いて取り組むことができ、裁縫に対する苦手意識がなくなりました。

## 栃木第五小学校「ミシンボランティア」



学年の保護者だけに呼びかけていたミシンボランティアを、今年度は全校の保護者や地域の方に広げて募集しました。6年生と、初めてミシンを使う5年生の家庭科の授業で、支援に入っていました。

使うミシンによって使用方法が少しずつ違うことや、数多い手順に戸惑い、児童の手が止まってしまうことなど、担任一人での支援の難しさを解消することができました。また、募集の範囲を広げたことで、多くのボランティアの方々に学校や児童の様子を見ていただくことができました。

## 南小学校「安全・安心な休み時間」



今年度から、休み時間・昼休みの見守りボランティアをお願いしています。教員だけでは校庭を走り回って遊ぶ子どもたちをすべて見るのは不可能です。危ない行為をしていましたり、チャイムの合図を守らなかったりする子どもたちに声をかけてもらっています。ボランティアの方からは「授業中には見せない子どもたちの様子を見ることができた」「子どもたちから『元気』をもらった」と、嬉しい言葉をいただきました。

子どもたちも、すぐ近くに教員や顔見知りの大人がいることで、安全に安心して遊べています。

## 栃木東中学校「地域の人材を生かした音楽授業」



本校の音楽教諭は、授業において生徒に様々な楽器の生演奏を聞かせたいという思いがありました。今まで、尺八や三味線の生の音を聞かせることができませんでした。また自身が奏でることも難しいため、地域コーディネーターのお力を借りて、授業の中で尺八や三味線を演奏してくださる地域の方を探していました。

生徒が楽器の生の音を聞く機会が増えることで、生徒の感情、知覚、認知が活性化されることが期待されます。また、地域コーディネーターが間に入ってくれたおかげで、音楽教諭との打合せ等の負担も軽減することができました。

## 栃木西中学校「西中ギャラリーへの絵画の展示協力」



地域住民の方や西中卒業生の方に、ご自身の描かれた絵画を掲示していくことで、学校の環境を整え、絵画を鑑賞する生徒の心が和み穏やかになることを目的に、校舎1階廊下に西中ギャラリーを作りました。地域コーディネーターが広く地域に呼びかけ、卒業生や自治会長の協力を得てたくさんの絵画を集めることができました。

教職員や生徒から廊下が落ち着いた雰囲気になったとの感想が聞かれました。また協力していただいた方が記念撮影に来校され、学校の敷居を下げるようになりました。

## 栃木南中学校「美術授業ボランティア」



本校では、美術専任の教員がないため、臨時免許で他教科の教員が美術の授業を行っています。そこで、地域の美術が得意な方に、授業サポートボランティアとして協力をいただいています。ボランティアの方には、生徒の様子を見ながら、美術的センスや細かい指導が必要な部分についてのアドバイスや、ちょっとしたコツなどを伝えていただき、生徒達は意欲をもって活動することができます。

作品制作に対して悩んでいる生徒からは、様々なアイデアを聞くことができ、とても参考になっているという声が出ています。

## あなたも学校でボランティアをしてみませんか

地域の人たちが子どもたちの学びにボランティアなどで関わっていただくことで、子どもたちの学びをより豊かにするとともに、地域のつながりを深めます。

ボランティアの内容は、「授業支援」「読み聞かせ」「学校行事への協力」「環境整備」など様々です。ご協力いただける方は、栃木公民館までご連絡ください。地域と学校の橋渡し役を担っていただいている“地域コーディネーター”的な方をご紹介します。

編集：栃木中央アシストネット地域教育協議会 令和8年2月発行  
問合せ：地域政策課 栃木公民館係 ☎ 0282(24)0352  
栃木市入舟町6-8 きららの杜とちぎ蔵の街楽習館内

